

## 20万分の1日本数値地質図(シームレス地質図)の編集と利活用

## The first compilation of the Seamless Digital Geologic Map of Japan 1:200,000, and its application

# 井川 敏恵 [1]; 脇田 浩二 [2]; 宝田 晋治 [3]

# Toshie Igawa[1]; Koji Wakita[2]; Shinji Takarada[3]

[1] 産総研・地質情報; [2] 産総研; [3] 産総研地調

[1] Geological Survey of Japan, AIST; [2] GSJ; [3] GSJ, AIST

産業技術総合研究所地質調査総合センターでは、平成14年度より国土基盤情報整備の一環として、デジタル地質図「20万分の1日本地質図数値地質図(以下、シームレス地質図)データベース」を作成し、昨年度完成した。シームレス地質図は全国统一凡例を用いて描かれており、20万分の1位置精度を有する日本で最も詳細な広域地質図である。

シームレス地質図の作成に当たっては、地質調査総合センター発行20万分の1地質図幅を基にし、必要に応じて土木地質図や自治体発行の地質図を使用した。シームレス地質図を作成する際用いた全国统一凡例は、100万分の1日本地質図第3版(地質調査総合センター、2003)の凡例に準じており、岩石の種類と形成年代で分類したものである。

シームレス化のプロセスは次の通りである。1. 20万分の1地質図を数値化する。2. 地質図毎の凡例を全国统一凡例に対比する。3. 隣接する地質図同士で地層及び岩体の境界を連続させる。シームレス地質図は最新の地質情報に基づいて作成されており、古い地質図に関しては解釈し直したり、新たな地質情報を加えたりしている。地域によっては既出版の地質図よりも正確で詳細な地質情報を表現している場合がある。

シームレス地質図は研究情報公開データベース(RIO-DB)を通じてウェブ公開(<http://www.aist.go.jp/RIODB/db084/>)しており、ネット環境が整っていればいつでも誰でも閲覧出来る。ウェブ上ではシームレス地質図を無段階ズームで閲覧出来るほか、ラスト画像のダウンロードも出来る。ウェブ上のシームレス地質図は、国土地理院発行の標高データ(数値地図50mメッシュ)および道路・地名データ(数値地図200000)を重ねて表示されており、位置の特定がしやすいよう工夫されている。

シームレス地質図は全国统一凡例で作成されている為、地質学に関する専門知識がなくても地質情報を読み取れる。またデジタルデータである為、拡大縮小が自由自在にでき任意の地域を簡単に切り出せるという高い利便性をもつ。このような性質を持つシームレス地質図は多様な場面での活用が期待できる。特に教育・普及分野における分かりやすい地質情報の提供、及び地震・活断層研究分野や地球化学研究分野などに関わる学際的研究テーマへの発展、という2点においてシームレス地質図は担うところが大きい。

シームレス地質図は今後、改訂・更新を行っていき、20万分の1縮尺で提供可能な最高水準の情報を素早く発信出来るよう努めていく。また出版物として販売も行う予定である。インターネットなどを通じて、シームレス地質図が多くの人々に利用されることを願っている。

## 引用文献

地質調査総合センター(編)(2003): 数値地質図 G-1, 地質調査総合センター。